

「職員のための参画と協働のガイドブック」の作成について

平成 18 年 4 月、「豊岡市 市民と行政の協働推進指針」を策定し、行政と市民がそれぞれの自主性を尊重しながら目標を達成するという、市民参加による協働のまちづくりを目指すとの新たなかたちの方針を示した。

この方針に基づき、今後進めていくまちづくりに対し、職員自身が創意工夫し、実践していくための基本的な手引書として、「職員のための参画と協働のガイドブック」を作成した。

1. 策定経過

平成 19 年 7 月 豊岡市参画と協働ガイドライン策定委員会委員（10 名）及び
ワーキング部会委員（20 名）の委嘱・・・（別紙）

(1) 豊岡市参画と協働ガイドライン策定委員会での検討（H19 / 10 月以降 2 回）

(2) ワーキング部会での検討（H19 / 7 月以降 4 回）

分科会（3 分科会 各 4 回） グループ会議（5 グループ 各 2 回）

ワーキング部会委員が、さらに 3 分科会に分かれ検討を行い、その後、新たに 5 グループに分かれ検討を行った。

2. 策定概要

(1) 「基本編」、「マニュアル編」、「資料編」の 3 編構成としている。

(2) 市のシンボルとして制定した「市の鳥、市の両生類、市の石」のキャラクターを案内役として使用している。（コウノトリのこうちゃん、オオサンショウウオのおおちゃん、玄武岩の玄さん）

(3) 状況変化に対応できるよう随時、追加・修正等が可能な加除形式としている。

3. 活用方法

(1) 推進員体制の立ち上げを 4 月中に行う。ガイドブック策定に参画したワーキング委員を主体とした推進員体制により、仕組みづくりの継続研究や年 4 回程度の職員向けの研修会を実施。

(2) 評価・検証の確認シートの運用を図り、次年度事業や予算に反映する。

(3) ボランティアセンター機能をもつ豊岡市社会福祉協議会と協働し、市民活動団体の相談体制の整備やリーダー養成などに取り組む。

4. 策 定

平成 20 年 3 月

【 問合せ 】

総務課協働推進係